

氏名 (法人にあっては名称)	王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社
住所	東京都千代田区霞ヶ関3丁目2番5号 霞ヶ関ビルディング27F

自社等発電所(*1)の有無	無		
電気事業の概要	<p>■小売電気事業者</p> <p>2015年7月より工場・事務所等への電力小売を実施。 また2016年4月より、グループ会社を通じて家庭・事業所への電力小売を実施。</p>		
電気の供給における温室効果ガスの排出状況	年度	実二酸化炭素排出量	把握率
	前年度実績(2020年度)	0.30 (千t-CO <sub>2</sub> )	0.00 (%)
電気の供給における温室効果ガスの排出量の抑制に関する措置の実施状況	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度目標(2020年度)	0.320 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.580 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)
	前年度実績(2020年度)	0.149 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.398 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)
	(措置の実施状況)		
<p>小売電気事業者として事業活動を行う上でバランスの取れた電源構成を目指している。再エネ電源からの相対調達、およびクレジットや証書活用等で排出量抑制を推進していく。※特定事業者からの卸供給影響を受ける可能性あり</p>			

\*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。  
 \*2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(実二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。  
 \*3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度目標 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	(措置の実施状況)		
調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況	自社保有発電所なし		
	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度目標 (2020年度)	4 (千kWh)	2.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	177 (千kWh)	7.78 (%)
(措置の実施状況)			
おもに高度化法対応による証書取得により環境価値を確保			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況	実施なし		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置の実施状況	実施なし		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要家が自らの使用電力量をWEB上で確認できるシステムを立ち上げている。</li> <li>・WEB上で自社の電源構成を公表。</li> </ul>		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組の実施状況	特になし		

\*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。  
 \*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。  
 \*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。  
 \*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。  
 \*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。